

三石文隆

平成30年
11月号

高知県議会 三石文隆議員特集号

県政報告



〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 県議会自由民主党控室 TEL 088-823-9522

主な質問項目

- 教育長就任に当たっての所信・抱負について
- 高知県管理職教員組合の元書記長の組合資金横領事案について
- 道徳教育の推進について
- 明治150年記念人材育成プランについて
- こども食堂の取り組みについて
- 学校における働き方改革について
- 国旗・国歌について



答弁する尾崎知事



教育大綱の目標達成に向けて

■三石議員 伊藤教育長に期待することは何か。

■尾崎知事 本県の教育振興のために、次の3つをお願いします。たいと考えております。

まず第1に、常に子供たちのことを第一に考え、子供のためにという視点を徹底していただくこと。

第2に、教育は現場において実行されるものでありますので、現場の思いにしっかりと寄り添いながら取り組みを進めていただくこと。

第3に、まずはチーム学校の構築、厳しい環境にある子供たちへの支援、地域との連携・協働などを柱とする現在の教育大綱の取り組みを、PDCAサイクルを回しながら全力で進めていただきたいと思います。

さらには現行の教育大綱にどうもならず、常に伊藤教育長得意の創造性を発揮していただき、子供たちのために教育行政そのものを進化させ続けていただきたいものだと考えています。



和食トンネル工事現場にて



幡多土木事務所にて



ジョン万次郎資料館にて



とかの集落活動センターにて



都市計画道路安芸中央インター線 防災・安全社会資本整備交付金工事にて



土佐山アカデミーにて



国分川地震高潮対策工事にて



日下床上浸水対策にて

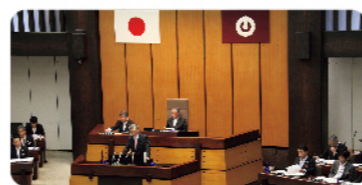
三石文隆議員の活動記録

常任委員会では、本会議で付託を受けた議案や請願などを審査・調査します。また、県内出先機関等の業務概要調査も行っています。

平成30年度は産業振興土木委員会に所属しています

三石文隆議員の7プロフィール

- 昭和29年生まれ。
- 国士館大学法学部を卒業、教師(中学校)になる。
- 平成5年、16年間にわたる教師の職を辞し、政治の道を志す。
- 平成11年4月、高知県議会議員に初当選、現在5期目。
- 高知県議会常任委員会のすべての委員長、決算特別委員長、議会運営委員長、高知県監査委員等の要職に就く。
- 平成23年5月、第95代高知県議会副議長。
- 平成27年5月、第94代高知県議会議長。



三石文隆県政事務所

〒780-0966 高知市福井扇町13番27号
TEL 088-872-0066 FAX 088-872-1113

高知県議会ホームページ
高知県議会 検索 <http://gikai.pref.kochi.lg.jp>



三石文隆 議員特集

教育長就任に当たって

■三石議員 伊藤教育長は、本県教育行政事務の最高責任者として、どのような抱負を持って何を大切にしながらどのような方策で切り盛りしていくつもりなのか。

また、学校現場や県民に向かって教育長の考えをどのように発信していくのかも含め、就任に当たっての所信、抱負を聞く。



■教育長 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り開いていく人材の育成を目指し、本県の子供たち一人一人に知・徳・体の調和のとれた力を育んでいきたいと考えています。

まず、チーム学校の構築、厳しい環境にある子供たちへの支援、地域との連携・協働などの取り組みをスピードを緩めることなく継承し、しっかりとPDCAサイクルを回すことで、教育大綱や教

明治150年記念 人材育成プランについて

■三石議員 明治150年記念人材育成プランの今後の構想について聞く。

■教育長 11月の「志・とさ学びの日」を軸として、先人の生き方や地域の歴史・文化の学習を通じて、県民一人一人が生涯にわたり、みずからの志を考えることができる機会をつくるため、県内の文化施設等の協議会であるこうちミュージアムネットワークに対し、来年度以降の事業連携について正式な協議を開始させていただいたところです。

本県の先人の業績や生き方を学ぶとともに、郷土への誇りを持ち、それぞれの志について考えていただけるよう、こうちミュージアムネットワークや関係部局とも連携しながら具体的な事業を検討してまいります。

子ども食堂の 取り組みについて

■三石議員 子ども食堂の取り組みの成果は、それを増やすことではなく、家庭の教育力を上げ、それをなくしていくことで

あると考えるが、所見を聞く。

■尾崎知事 子ども食堂の取り組みが家庭の教育力をさらに育む方向に作用するよう留意することは極めて大切だと考えており、今後そうした方向で子ども食堂のさらなる充実を図っていくことができるよう、検討を重ねてまいります。

学校における 働き方改革について

■三石議員 教師の勤務時間管理の徹底の現状と今後の取り組みについて聞く。

■教育長 県立学校において、これまでの自己申告方式からICTを活用した方式へ変更するため、校務支援システムを改修しており、9月からは全校での本格運用を開始いたします。

小中学校におきましても、県内の4分の3の学校で運用を開始する予定になっております。今後、各学校の管理職が時間管理や健康安全管理などのマネジメントをこれまで以上に適切に実施するよう、徹底を図ってまいります。

また、集計したデータを分析し、正規の勤務時間外の勤務内

育振興計画の取り組みを本県の子供たちのために進化させてまいりますと考えています。

そのためにも、現場を大切にする姿勢を基本に、各施策の進捗状況をしっかりと確認していききたいと考えています。

本県の教育の振興に向けて、市町村教育委員会や学校関係者、地域の方々ともしっかりと連携し、全力で取り組んでまいります。

高知県管理職教員 組合の元書記長の組合 資金横領事案について

■三石議員 教員による不祥事の続発は、県民への背信行為だと重く受け止めている。

珠に日教組を母体とし、校長・教頭が加入する高管教の元書記長による4800万円の横領事案は、戦後教育の怠惰な影そのものではないのか。

■尾崎知事 児童生徒の学力や体力に改善が見られる中、これまでの関係者の努力に水を差すような高管教の不祥事には強い憤りを禁じ得ません。

横領した元校長は論外ですが、事実を知り得ながら長期間報告していなかった役員にも深く反省してもらい、県民の公教

育に対する信頼回復に向け、全力で取り組んでもらいたいと考えています。

道徳教育の推進について

■三石議員 今回改訂された家庭用道徳教育ハンドブックについて、率直な感想を聞く。

■尾崎知事 今回改訂されたハンドブックは、郷土出身の15名の偉人の伝記が紹介されているということが大きな特徴となっているものと考えています。

こうした偉人の伝記は、読む者に生きる勇気や知恵などを与え、また人間としていかに生きるべきなのか、そのモデルを示してくれるものと考えています。

特に子供たちが成長の過程において、郷土出身の偉人を身近に感じながら、偉業をなし遂げた人物の生き方に出会い、こういう大人になりたいという夢や志、そしてふるさとへの愛着や誇りを持ち、将来の自分に思いをはせることは貴重な経験であり、よりよい人格形成の糧となるものと思います。

学校や家庭にとどまらずさまざまな場で、ぜひ多くの皆様に読んでいただきたい一冊だと考えています。



学校の働き方改革は、学校、教師、保護者、地域のそれぞれが連携し、協力することが不可欠だ。

容や従事時間を明らかにすることにより、業務の削減や勤務環境の整備につなげてまいります。

国旗・国歌について

■三石議員 私立学校における国旗掲揚、国歌斉唱の具体的な実施状況について聞く。

■文化生活スポーツ部長 県内には17の私立小・中・高等学校があります。平成29年度の卒業式、平成30年度の入学式において、土佐中・高等学校と清和女子中・高等学校を除く他の学校は、式場内での国旗の掲揚と国歌の斉唱、いずれも実施をされております。

■三石議員 学習指導要領の特別活動の中に、入学式や卒業式などでは国旗を掲揚し、国歌斉唱を指導すると規定されている。

校長や理事会の都合で指導しないと決断するのは言語道断だが、未実施校への対応を聞く。

■文化生活スポーツ部長 昨年の6月議会以降、土佐中・高には13回、清和女子中・高には6回訪問し、要請を重ねてきましたが、現時点で実施される話は聞いておりません。

今後、理事長や校長と対話を重ね、学習指導要領のつとめて適切に実施されるよう、粘り強く取り組んでいきます。